

【審査委員紹介】

仲道祐子（審査委員長）

情感豊かな音楽性と暖かい音色を持ち味とし、聴衆に愛されるピアニスト。

桐朋女子高等学校音楽科卒業後渡独、クラウス・シルデ氏に師事。ミュンヘン国立音楽大学、同大学院ピアノ科及び室内楽科を卒業。1996年より日本各地でのリサイタル、オーケストラとの共演、室内楽の分野でも活躍。音楽教育の普及に深い関心を示し、子供を対象とする企画や、ピアノの歴史300年をたどるコンサート、朗読とのコラボレーションなど多彩な演奏活動に力を注ぐ。

CDはビクターエンタテインメントとオクタヴィア・レコードよりリリース。田中カレン作曲のこどものためのピアノ小品集「愛は風によって」(オクタヴィア・レコード)はレコード芸術特選盤に選ばれた。大阪芸術大学演奏学科教授。



山本理奈

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽科卒業。ミュンヘン国立音楽大学大学院及びハノーバー国立音楽大学大学院修了。第28回フイナーレ・リグレ国際コンクールピアノ部門 優秀賞、第3回グリーグ国際ピアノコンクール ディプロマ賞及びメシアン賞受賞。2000年、2003年、2004年リサイタルを開催。ポーランド国立放送交響楽団、ルーマニア国立放送室内管弦楽団と共演。

これまで、橘純子、大下祐子、丸山恵美、米田栄子、菊池麗子、川島伸達、山崎牧子、石川正司、カール＝ヘルマン・ムロンゴヴィウス、アイナー・スティーン＝ネックレベルク各氏に師事。広島ドイツリート協会会員。ソロ、伴奏などの演奏活動を行う傍ら、後進の指導も行う。安田女子大学非常勤講師。

名越亮子

エリザベト音楽大学卒業。2000年よりフランス・パリに留学。パリ市立音楽院のピアノ科、室内楽科をそれぞれ満場一致の1等賞で卒業。パリ・エコールノルマル音楽院で室内楽を学び高等演奏家ディプロムを獲得。フランス各地で演奏会に出演。2005年フランスで行われたUFAM国際コンクール室内楽部門で満場一致の1等賞を受賞。帰国後、各地で演奏会に出演。現在は後進の指導にあたる。

これまでにピアノを佐藤富起子、米田栄子、見延和美、山崎牧子、ジュヌヴィエーヴ・マルティーニ、室内楽をジュヌヴィエーヴ・マルティーニ、モニク・メルシエ、伴奏法を阿部加奈子の各氏に師事。



中富恵利子

エリザベト音楽大学器楽学科ピアノコース卒業。同大学大学院修士課程終了。在学中エリザベト国際セミナーに於いて、J. ルヴィエ氏のマスタークラスを修了。第15回中国ユース音楽コンクールピアノ部門最優秀賞受賞。これまでに小嶋素子、戸梶美穂の各氏に師事。現在後進の指導にあたりるとともに戸梶美穂氏の元で自己の研鑽を積む。



長原博美

武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。呉市や広島市の学校鑑賞会を始め、各種コンサート、セミナー等で独奏、2台のピアノ、連弾、伴奏など数多く出演。ひろしまオペラルネッサンス・オペラ伴奏法研修会に参加し、終了演奏会にも出演。

ショパンコンクール in Asia、大阪国際音楽コンクール グランドファイナル、スタインウェイピアノコンクール in Japan、ベートンピアノコンクール、日本クラシック音楽コンクール全国大会等のコンクールの審査員も数多く務める。

音楽を学ぶ優秀な方々の発表の場として「からし種コンサート」の主宰、また「被爆60年」、「あしなが」、「盲導犬育成」等のチャリティーコンサートも数多く主宰し、音楽を通じてボランティア活動を行っている。

日本クラシック音楽家協会から最優秀指導者賞、ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan より優秀指導者賞を受賞。

元広島音楽高校講師、現在ドイツリート協会会員、安田女子大学非常勤講師。





小蔦寛二

東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻、同大学院修士課程を修了。ドイツに5年間留学、ハノーファー音楽演劇大学、カッセル市立音楽院、ベルリン芸術大学大学院を修了。ブラームス国際コンクールピアノ部門第2位、パルマ・デ・マヨルカ国際ピアノコンクール第2位、バルチック国際ピアノコンクール第1位など多くの国際コンクールに入賞。広島交響楽団、ケルントナー交響楽団、モニューシュコ音楽アカデミー交響楽団等とピアノ協奏曲を共演。オーストリアの主要ラジオ局 ORF に出演。ベーパーゼー音楽祭、ゴスラー・ハルツ音楽祭に招待される。

2014-2015年にはベルリンの日本大使館へ招かれ計3度の演奏会に出演。

2015年秋に帰国後も欧州と日本各地でのリサイタル、室内楽、声楽伴奏、オーケストラの客演ピアノ等を行う。また、妻の小蔦花結とのピアノデュオではモーツァルトの2台ピアノ協奏曲の協演、デュオリサイタル等、幅広く演奏活動を行っている。エリザベト音楽大学、安田女子大学講師。
(株)クライスマジックエンターテインメント所属アーティスト。

【予選審査員】



羽賀美歩

愛知県名古屋市出身。

東京藝術大学音楽学部ピアノ専攻卒業後、同大学院古楽科フォルテピアノ専攻修了。

これまでにピアノを浅井潤子、故堀江孝子、播本枝未子、佐藤俊の各氏、また作曲を寺西誠氏、室内楽を山崎伸子氏、フォルテピアノを小倉貴久子氏に師事。

2歳よりヤマハにて音楽教育を受け始め、4歳でピアノを、6歳で作曲を始める。テレビ朝日系列局『オリジナルコンサート～私たちの創った音楽～』に出演し、また台湾、フランスなど、海外公演を含む多数コンサートにて、自作の曲を演奏する。

2011年、クレムスエッグ城国際フォルテピアノコンクール第2位。2013年、ブルージュ国際古楽コンクールフォルテピアノ部門第3位。伴奏ピアニストとして、第21回奏楽堂日本歌曲コンクール優秀共演者賞を受賞。現在は古楽器フォルテピアノ奏者として活動するほか、器楽や声楽の伴奏ピアニストとしても多数の演奏家と共演し、高い信頼を得ている。

2015年6月には小倉貴久子氏との連弾による「美しいアップライトピアノ～連弾の悦び～」(浜松市楽器博物館コレクションシリーズCD)が発売された。

2019年、ヴァイオリニスト高橋奈緒、チェリスト高橋麻理子とともに、オリジナル楽器による「トリオ・ハービツヒ」を結成。同トリオによる初録音として、ファニー・メンデルスゾーンの室内楽曲を集めたCDアルバムが2021年12月7日に発売。

吉見友貴

2000年東京生まれ。広島でピアノを習い始める。高校2年在学中、第86回日本音楽コンクールで最年少優勝を果たす。

エリザベート王妃国際音楽コンクール2021セミファイナリスト。

第4回マンハッタン国際音楽コンクールにてSilver Medalを受賞。

2015年アリオン桐朋音楽賞受賞。浜離宮朝日ホールやトッパンホールでリサイタルを開催する他、2019年にはシャネル・ピグマリオン・デイズ・アーティストに選出され、CHANEL NEXUS HALLにて全6回のリサイタルを行った。そして2020年12月には、日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会にてミシェル・ダルトベルト氏の代役を務め、好評を博した。これまでに東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、ワロニー王立室内管弦楽団等と共演。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、TBSラジオ「High school a GOGO!!」、Tokyo FM「ホンダスマイルミッション」等ラジオ出演も多数。室内楽にも積極的に取り組み、シャネル・ピグマリオン・デイズ室内楽シリーズや、Music Dialogue に出演。そして、ニューヨーク・フィルハーモニックやフィルハーモニア管弦楽団など国内外主要オーケストラのメンバーで構成された、ヴェリタス弦楽四重奏団と共演している。現在、ニューイングランド音楽院に奨学生（2020年～）として、そして桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースに全額免除特待生として在学中。

アレクサンダー・コルサンティア、上野久子、伊藤恵の各氏に師事。2019年度、2020年度ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。2020年度江崎スカラシップ奨学生。



アレクサンダー・コルサンティア、上野久子、伊藤恵の各氏に師事。2019年度、2020年度ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。2020年度江崎スカラシップ奨学生。

アレクサンダー・コルサンティア、上野久子、伊藤恵の各氏に師事。2019年度、2020年度ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。2020年度江崎スカラシップ奨学生。

沖口里彩



同志社女子大学学芸学部音楽学科ピアノ専攻を首席で卒業。

同大学卒業演奏会、第86回読売新人演奏会に出演。

2017年より渡欧。ポーランド国立ショパン音楽大学修士課程に最高得点で入学し修了。同大学研究科修了。第10回ベーテンピアノコンクール全国大会第2位。第22回KOBE国際コンクール優秀賞。神戸市教育委員会賞受賞。

第3回アルカスピアノコンクール本選入選。

第6回イスキア国際ピアノコンクール第2位(イタリア)グランドプライズヴィルトーゾ国際コンクール in2018 第1位(イタリア)。

City of Osaka シンフォニア「OPUS」、ポーランド国立クラクフ室内管弦楽団、シレジアフィルハーモニー管弦楽団と共演。これ

までにピアノを木下千代、福井亜貴子、中野慶理、Jerzy Sterczynski、Maciej Wota の各氏に、室内楽を Andrzej Guz 氏に師事。現在、関西を中心に演奏活動を行いながら後進の指導にあたる。

辻延江

大阪芸術大学音楽教育学科卒業、同専攻科修了。

寝屋川市主催、第2回抜粋新人演奏会の審査を通過、新人演奏会に出演。第8回、第10回、第11回、第12回日本バッハコンクール予選優秀賞受賞 全国大会出場。

第11回日本バッハコンクールオンライン大会一般B部門銀賞受賞。

2022年日本ピアノ指導者協会（ピティナ）指導者ライセンス全級取得。日本ピアノ指導者協会（ピティナ）指導者会員。

NEYAGAWA はちかづステーション支部会員。

PL学園女子短期大学 元非常勤講師。寝屋川市アルカスピアノコンクール元実行委員。

現在、後進の指導にあたっている。



唐川万穂美

広島市出身。東京音楽大学ピアノ専攻卒業。

今までに森博子、小川泉、上野久子、神代麻子、関根有子の各氏に師事。

在学中日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。

広島、東京、福岡での数々のコンサートに出演。

現在は高橋知代乃、藤原由紀乃の両氏に師事し、"魂の耳で聴くピアノ奏法"である"ツィーグラー奏法"の研鑽を積んでいる。